



絵・橋本豊治

天平十五年（七四三）年聖武天皇より、東大寺大仏造立のため勸進に起用される天平十七年（七四五）日本で初めて大僧正の位を授けられた

高尾山開山行基菩薩

高尾山物語 ②

今から二七〇余年前の天平十六年（七四四）、行基菩薩により高尾山薬王院有喜寺が開山されたと伝わっております。行基菩薩は近畿地方を中心に布教活動を行い、貧民救済・治水事業・架橋事業も行っておりました。初めのうちは、民衆に布教することが僧尼令に違反するとして、朝廷から弾圧されていましたが、やがてその活動が認められるようになりました。行基菩薩は聖武天皇の詔により大仏造立のため各地方で勸進を行い、その功績から日本で初めて「大僧正」の位を送られました。その活動と同時に、各地で寺院を開山されました。

相手のやる気 呼び戻させる 不思議な力 ほめ言葉

高尾山子供やまぶし修行体験会

高尾山へ古来より伝わる、やまぶしの修行を体験してみませんか？山に広がる大自然の中で、やまぶしと共に滝に打たれたり、山歩きをして困難や試練に耐える強い心を鍛えてみましょう。

日時 平成三十年八月五日(日) 午前八時より午後四時半ころ
場所 高尾山麓不動院 午前八時集合
参加費 五千円
対象者 小学生 定員八十名
申込期間 六月二日(金)より七月二十七日(金)まで
行程 出発→滝行(琵琶滝)→山歩き(自然研究路)→食事・腕輪念珠作り(薬王院)→柴燈護摩修行
参加(有喜苑)→下山(ケーブルカー使用)
不動院到着・解散

*定員八十名(先着順)とさせていただきます。
*ご参加希望の方は、左記の連絡先までハガキにて、参加児童の氏名・学年・性別・住所・電話番号・緊急連絡先を必ず明記の上お申込下さい。

〒一九三三八六八六 八王子市高尾町二二七七番地 以上
電話(〇四二)一六六一一一一五
FAX(〇四二)一六六四一一九九
高尾山秀峰会事務局

健康登山者投稿作品 絵手紙「貝がら」

八王子市 峰尾 里枝子 様



一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

六十五段 良くなかったことの責任を他人に押しつけない

何か問題が起こった時、本当は自分が悪いのに「私は悪くない、あの人が悪い」と責任転嫁してしまった経験はありませんか。自分の誤りを認めることは大変困難なことです、「ごめんなさい」と謝る勇気を持ちたいものですね。

高尾山季節散歩

暦の言葉 「七十二候」

「かまきりしようず」

六月六日～六月十日頃

「かまきりしようず」 六月六日～六月十日頃 蠅螂の卵(卵鞘)は、二百から三百個の卵の集合体です。秋に草木に産み付けられ、春になると一斉に幼虫が孵化して這い出します。夥しい幼虫が苛烈な生存競争を行い、勝ち抜いた数匹がこの時期に成体となります。

今月の風物詩

紫陽花

紫陽花の花が咲くと、梅雨の訪れを感じます。紫陽花の花の色は紫陽花が生えている土壌の酸性度により決まり、酸性ならば青、アルカリ性ならば赤と言われています。高尾山でも、参道には多くの紫陽花が彩り、参拝の方々を楽しませてくれます。

高尾山の昆虫

ナガサキアゲハ



ナガサキアゲハは日本産の蝶としてはモンキアゲハやオオゴマダラと並ぶ大型種となります。従来は東南アジアから九州にかけて見られる種でしたが、近年は北上して分布を拡げ高尾でも普通に出会えるようになってきました。本種はアゲハチョウの仲間になるが特徴で、私自身も以前高尾でモンキアゲハを撮影したつもりが、後でナガサキアゲハであったと分かり、驚いたことがあります。本種は年に三～五回、四月～十月に発生し、他のアゲハ同様に各種の花に集まり、吸蜜する姿をよく目にします。かつては南方に出かけて行かなければ出会えなかった大型で美しいアゲハでしたが、関東でも容易に見られるようになったことは、ちょっと得をしたような気分にもなります。この分布の変遷については温暖化が要因だと考えられています。ただ昨今の冬季の寒さは温暖化と相容れないような部分もあり、温暖化の指標種とされている本種の今後の趨勢が気になるところです。(標本 TAKA059NMUSEUM・文松島 孝)